

新人紹介

養殖研究部 研究員 永田 大生



はじめまして。平成 22 年度熊本県新規採用で水産の技術職員として採用されました、永田大生です。

今年の 4 月より当センターの養殖研究部配属となりました。私の担当業務はクマモト・オイスター（シカメガキ）の種苗生産・中間育成、養殖魚の低魚粉・低コスト飼料開発のためのマダイ飼育試験です。また魚病診断については現在勉強中ですが、これから経験を積み魚病の早期診断を行い魚病による被害の低減に貢献したいと考えています。

私が所属する養殖研究部で取り組んでいる試験は、クマモト・オイスターの養殖、新たな養殖魚種の開発、ハマグリ稚貝の中間育成、養殖魚の低魚粉・低コスト飼料開発、魚類と藻類の複合養殖などを行っています。

当研究部では、魚介類を直に扱うことが多く、生き物が好きな私にとって非常に充実した日々を送らせてもらっています。その一方で生き物を扱うことの難しさを感じ、日々の観察、科学的データを基にした冷静な判断がとても重要であることを痛感させられ、とにかく日々勉強です。

現在熊本県の養殖業は赤潮による漁業被害や魚価の低迷などで非常に厳しい状況です。魚類養殖業は私たちの魚食文化の伝承や、多様な動物タンパク質の安定的供給源としての役割を担う重要な産業として、これから明るい未来に向い持続的に発展していかななくてはなりません。私はまだ経験も浅く、知識も不十分な点がありますが、これから熊本県が「魚類養殖立県」として持続的に発展していけるよう、日々努力し、お手伝いできたらと考えています。今後、現場にもどんどん出て行くつもりですので、見かけたらお気軽に声をかけて下さい。